



コロナウイルス感染症が5類に移行し、こども園も少しずつ以前の姿に戻りつつあります。これまでマスクの顔に見慣れている子どもたちの前でマスクを外しますと、驚いたようにじーっと見つめられ、0歳児に至っては泣かれてしまいましたが、思いっきりの笑顔で職員は頑張っています。

さて、昨年より計画していました「園庭改修工事」が6月から始まり、いよいよ大型木製遊具組み立ての段階に入っています。松陽こども園のシンボルでもある石で出来た「わんぱく山」は、約35年前公立保育所時代に福井県大野市から石を運び込み作られたものです。

大切に受け継がれてきた石山を最大限活用し、周囲には木々を植え、新たに土の山を作り木製の大型遊具へとつなぎ、そこから橋を架け「わんぱく山」に渡る設計になっています。

好奇心旺盛で冒険心が強い子どもたちは、石や丸太を登ったり、斜面を走り回ったりなど思いっきり体を動かし遊べる「冒険の森」の完成を心待ちにしています。

完成後地域の皆様に新しい園庭のお披露目をしたいと思っています。その際は是非こども園に足をお運びください。お待ちしております。

(園長 森 都)

松陽こども園の教育・保育

松陽こども園では、教育・保育方針に『三つのゼン（安全・自然・積善）』を掲げています。

あんぜん
安全

《健康な心と体》

子どもたちが健康・安全で情緒の安定した生活が出来るように心の土台を育む。

しぜん
自然

《深い感動と豊かな感性》

本物の自然に触れ、深い感動と豊かな感性を育てる。

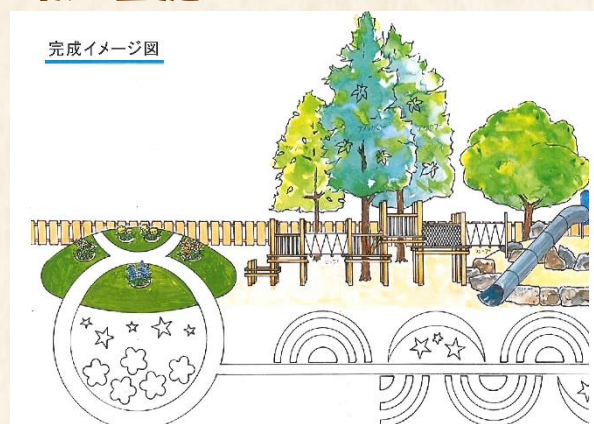
せきぜん
積善

《豊かな人間性と道徳性》

善悪の判断等という道徳性の芽生えを育む。

この三つのゼンを大切に、教育・保育目標の『心身ともに健やかな子ども』の育成へと繋げていきます。

秋に園庭がリニューアルします



～園庭遊びで大切にしたい三つのゼン～

園庭を改修するにあたって三つのゼンの方針を大切にしながら「子どもたちはどのように遊ぶだろうか。その遊びの中でどのような育ちがあるだろうか。」と職員間で話し合いながら計画をすすめています。

あんぜん
安全

〈安全に失敗出来る園庭に〉

子どもたちが「やってみたい」と思う遊びには成功もあれば失敗もつきもの。失敗を繰り返しながらどうしたら安全に遊べるかを子ども自身が考えられるようになってほしいと保育者は思っています。そのために失敗しても大きな怪我につながらない園庭環境を考えています。

しぜん
自然

〈松陽らしさのある園庭に〉

80年間続く松陽こども園の文化を忘れずに、今あるわんぱく山を活かして緑いっぱいの園庭を計画しています。四季の変化を感じられるような自然に囲まれた環境の中で、子どもたちの気づきを大切にしたい保育を目指しています。

せきぜん
積善

〈子ども同士の力が発揮できる園庭に〉

園庭は様々な年齢の子たちが関わって遊ぶ交流の場となります。様々な人と出会い、真似をしたり協力して遊びをすすめたり、友だちとルールを決めて行動したりと互いに刺激をもらいながら遊べる環境を考えています。



子どもたちが計画する夏祭り！大盛況でした♡

『友だちとアイデアを出し合い、試行錯誤をしながら作り上げ、ともに成功を喜び、自分の役割を果たそうとする気持ち』

私たちは夏祭り当日までに揺れ動く子どもたちの思いや姿を大切に受け止め関わっています。

年中組（4歳児）

〈輪踊りを担当しました〉

夏祭りで言う輪踊りは4歳児が担当し企画しました。年上児や年下児が楽しく輪踊りに参加してもらえるよう考え、グループに分かれて話し合いました。そして「手を繋いであげたい」「プレゼントをあげたい」と年下の子に何かしてあげたいという意見や優しい気持ちがたくさん出てきました。

当日に向かって準備をしていく中で一人だけですすめたり、すぐに先生に助けを求めたりするのではなく、子どもたち同士が助け合い、協力し合いながら自分たちの思いを形にする経験を積んでいけるように保育者は温かく子どもたち同士のやり取りを見守っています。



どんなことをしたい？

やぐら作り！

プレゼント作り！
小さい子にあげたいな



司会進行

年長組（5歳児）

〈屋台を担当しました〉

子どもたちは昨年度の年長さんが企画した夏祭りを見たり体験したりしたことで、「今度は自分たちの番だ」とやる気満々で夏祭りを計画してきました。その中でみんなと話し合い、意見を出し合って4つのお店屋さんを開くことに決めました。ピタゴラススイッチコーナーではゴールまでボールを転がすことが出来るコースをどうしたら作れるか考え、伝えあい、工夫し、試してきました。友だちと協力して作り上げていくことがとても楽しいようで、ボールが思うように転がるとみんなでガッツポーズをして喜んでいました。

にじ組横丁（お店屋さんコーナー）では年少児にお客さんになってもらい、遊んでみる中で「お客さんがいっぱい来たら渋滞した」などと困り感に気づき、どこを改善していったらよいかを考えて友だちに伝えるという年長児らしい姿も見られました。おもちゃすくいやワニワニパニックコーナーもお客さんが楽しんでもらえるように何度も話し合いの場を設け、時間をかけてすすめてきました。それぞれのコーナーで自分の役割を果たそうとする子どもたちはとてもたくましく感じました。



すべりだいや積木を使ってみたいかな？



チケットが必要だね

どうしたらお客さんが喜んでくれるかな？



夏祭り当日
7月5. 6. 7日



ワニワニパニック コーナー



おもちゃすくい
コーナー

おにいちゃん、おねえちゃん あいありがとう♡



ピタゴラススイッチ コーナー



にじ組横丁（お店屋さんコーナー）

とっても楽しかったよ♡

夏祭り当日の給食は屋台メニューでした！

給食は夏祭りに合わせて子どもたちの大好きな屋台メニューを提供しました。メニューにある、とうもろこしは年少児が朝、皮を剥きましたよ！この日は特に「先生、おなかすいた～早く食べたいなあ」と給食の時間が待ち遠しかったようです。“オムそば”や“とうもろこし”のチケットをもらってわくわくしながらお店に買いに行く子どもたちの表情はとても可愛らしかったです。松陽こども園では子どもたちの遊びに関連した給食メニューを提供し、楽しく食育に結び付けていきたいと考えています。



屋台屋さん



おいしい～♡

●屋台メニュー●
・オムそば ・からあげ
・スティックきゅうり
・ゆでとうもろこし

いらっしやいませ！
チケットを見せてください